

東京のページ



「今まで通りの授業を続けて」と訴える保護者の会
(左側)15日、都庁

従来の性教育を

七生養護学校の
父母ら署名を提出

都立七生養護学校(日野市)で「不適切な学校運営が行われている」として、都教育委員会が同校前校長らを処分した問題で、生徒の保護者らでつくる「七生養護学校在校生・卒業生保護者の会」は十五日、同校の従来の性教育復活などを求める署名を都教委に提出した。同会は「教育を受ける権利を侵害された」と話した。

として、東京弁護士会に人権救済の申し立ても行う予定。
署名は約七千人分で、従来の教材を使った性教育の続行や、保護者など当事者からの意見聴取などを求めている。この日、保護者ら四人が都教委に署名簿を手渡した。同校の性教育が不適切だったなどとされたが、保護者の一人は「決して『過激な性教育』ではない」といって、多くの人に知ってもらいたい」と話した。

七生養護問題

教材、授業を元に戻せ 保護者の会 都教育庁に署名6900人

都立七生養護学校で「不適切」な性教育が行われていたなどとして、東京都が性教育用教材を没収し、校長以下教職員が処分された問題で、同校の保護者有志がつくる「七生養護学校在校生・卒業生保護者の会」の洪美珍さんら四人は十五日、都教育庁に「七生養護学校の手づくりの教育を好き育てるための請願書」を提出し、教材を返

し、今まで通りの授業を取り上げ「不適切」な性教育が行われていたなどとして、都側は桐山靖彦教育情報部長らが応対し、署名を受け取りました。

署名提出後、保護者の会は都庁内で記者会見を行い、「私の子(男子)もおしりを洗って小用をしてたのが、学校で教わって、スポンを履かずに洗えるようになった」と話した。

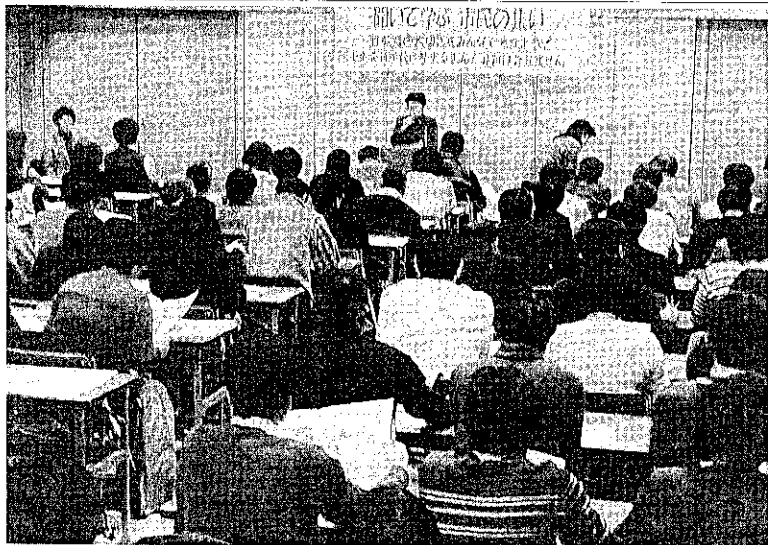
同じく子どもを七生養護学校高等部に通わせている伊藤勝義さんは、「都教委は『学習指導要領に載っていないから不適切』というけれど、知的障害を分かっているのではないのか。先生の処分を撤回し、教材や資料を元に戻してほしい」と強い口調で語りました。

野性教育の大切さ考えよう

日 七生養護「支援する会」が集会

「七生養護学校の教育を支援する日野市民の会」は十三日、「野性教育の大切さをみんなで考えよう」と学習集会を開き、百八十人が会場の日野市保健センター集会室を埋めました。日本共産党の竹ノ上武俊日野市議員が出席、冒頭はじめの言葉を述べ、七生養護の現状や保護者の会が取り組んでいることなどを説明しました。

同校保護者の二人の母が、「障害を持った子どもが古習俗昭彰議との交渉内」の親の願いは、私たちが「内容を紹介します。今後、都議会



七生養護学校を支援する日野市民の会が開いた学習集会
13日、日野市

死んでからも子どもが糧やかき生きていけること。そのためにも必要なのは、性教育の機会を失ったことが残念です」などと訴えました。

養護学校の教員は「アダルトショップのようだと非難された教材や「からだの歌」について、実際の使い方」を説明し、「私はあなたの体を大事に思っていますよ。あなたはあなたの体を大事に思っていますよ。あなたの体を大事に思っていますよ」と語りました。

参加した日野市の女性などは「授業も見ずに過激なことを教わっているのか。性教育についての考え方はいろいろあるのだけれど、正しいと語りました。

過激性教育やめて

保護者ら 都教育長に調査要請
150人集会

都立七生養護学校（日野市）などで行われた性器付き人形などを使った

過激な性教育を教育現場からなくそうと、都議や教員、父母らによる「都

民集会」が十五日、都議会議事堂内で開かれた。

「過激な権侵害性教育を許さない！都民集会」と銘打ち、日本の家庭を守る地方議員の会（代表・占賀俊昭都議）が主催、約百五十人が出席した。

会合では、都内の私立高校の教員や小中学生の保護者らが意見発表や事例報告を行った。国分寺市内の小学校に子供を通わせている母親は、子供たちに女性生理用品に赤い液体をたらさせたり、精液に似せた白い液体を作らせたりした性教育の授業を批判した。

また、都民集会の参加者名で同日、横山洋吉教育長あてに過激な性教育の実態について調査することなどを求める要請書を提出した。